

ビデオ型教育情報提供システムの試作について

4E-11

深川紘司 織原裕之 松本誠二

（東京電機大学高等学校）

1、はじめに

教育現場において、情報技術を活用するシステムの一つにCMI (Computer Managed Instruction) と呼ばれる情報システムがある。本校では、CMI 情報システムをセンタ方式により運用している。本校のセンタCMI 情報システムは、教科担当および学級担任よりデータを収集し、教育データを分析し、加工した後、教育情報としてクラス担任、関係教員および関連部署に提供しているシステムである。収集・提供メディアは印刷メディアが中心であるが、磁気メディアによる、ビデオ型教育情報提供システムを試作し、その有効性を検証中である。本稿ではその概要を報告する。

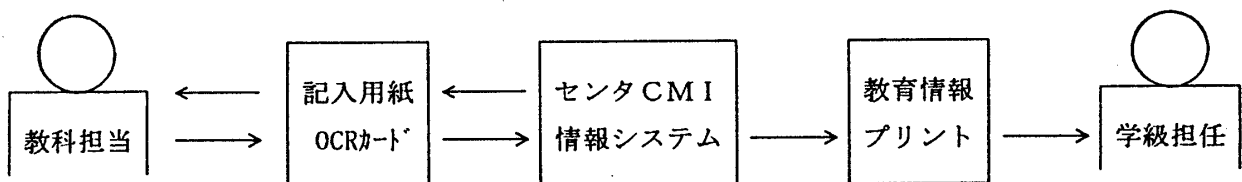


図1、センタCMI 情報システム概念図

2、ビデオ型教育情報提供システム

ビデオ型教育情報提供システムは、クラス単位の教育情報を磁気メディアにより提供する。パーソナルコンピュータを所有するクラス担任には教育データとその視覚化プログラムを記録したフロッピーディスクを提供し、パーソナルコンピュータを所有しないクラス担任には教育データを録画化プログラムにより録画したビデオカセットを提供するシステムである。

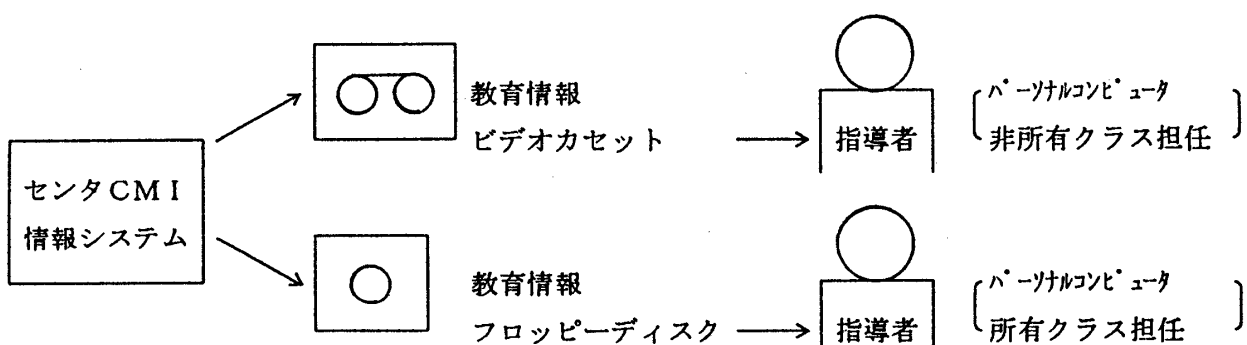


図2、ビデオ型教育情報提供システム概念図

A Prototype of Video Model Information Systems for Computer Managed Instruction

Hiroshi Fukagawa, Hiroyuki Orihara, Seiji Matsumoto

Tokyo Denki University High School

4-8-1 Kajino, Koganei, Tokyo 184, Japan

3、ビデオ型教育情報録画化システム

ビデオ型教育情報録画化システムは録画化プログラムによりクラス単位のエラーデータを動的な色彩図表に分析加工後、座席表・一覧表・順位表・通知表・推移表・度数表・分布表・散布表として録画するシステムである。そのハードウェアシステムの構成は、パーソナルコンピュータ、信号変換装置およびビデオ録画装置である。

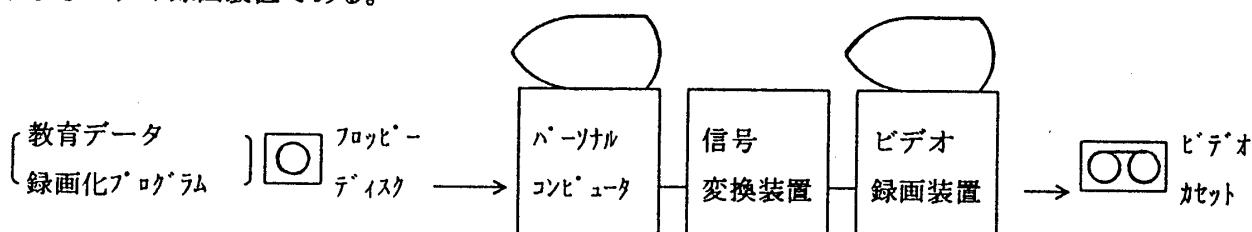


図3、ビデオ型教育情報録画化システム概念図

4、ビデオ型教育情報視覚化システム

ビデオ型教育情報視覚化システムはビデオ型教育情報録画化システムの特徴である色彩図表の動的表示機能に、対話機能を付加したエラーデータ解析システムである。視覚化プログラムによりクラス単位のエラーデータをカラーチャート、カラーテーブル、カラーグラフとして動的に表示するエラーデータ表示システムであり、クラス担任の視覚による優れた判断能力を活用することを目的とした意志決定支援システムである。

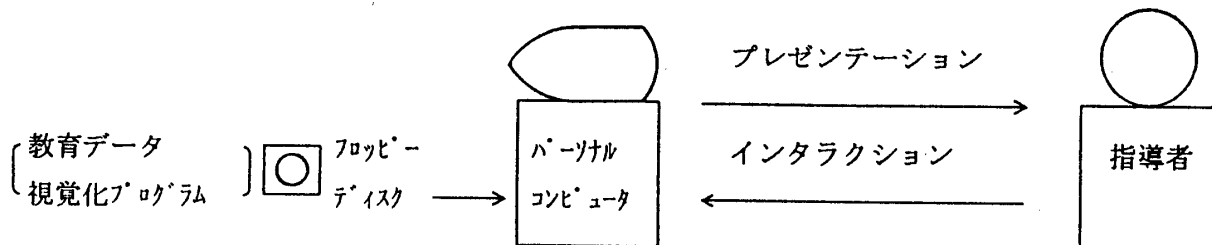


図4、ビデオ型教育情報視覚化システム概念図

5、おわりに

本稿では、ビデオ型教育情報提供の試作システムについて概要を述べた。ビデオ型教育情報録画化システムおよびビデオ型教育情報視覚化システムは、指導者の視覚による優れた判断能力を活用し、意志決定を支援する教育情報システムが目標である。学習者の集団像（クラスイメージ）および個性像（パーソナルイメージ）を分析する教育情報可視化システム(Computer Visualized Instruction)を目指している。試作システムの有効性を検証中である。

参考文献

- (1) 岡本敏雄著（1990）教育における情報科学、パーソナルメディア
- (2) 坂元昂著（1991）教育工学、放送大学教育振興会
- (3) 清水康敬編著（1992）情報通信時代の教育、電子情報通信学会
- (4) 坂元昂監修／清水康敬編著（1993）教育情報メディアの活用、第一法規
- (5) 深川紘司（1994）教務・学事支援の情報システム構築、東京私学教育研究所紀要 第42集